

注 意 報

農技セ第5505号
令和元年5月29日

各関係機関長 殿
病虫害防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病虫害防除所長
(公印省略)

令和元年度農作物病虫害発生予察情報について

令和元年度農作物病虫害発生予察注意報第1号を発表したので送付します。

令和元年度病虫害発生予察注意報第1号

令和元年5月29日
徳 島 県

5月第3～5半旬における予察灯及びフェロモントラップ調査で、果樹カメムシ類の誘殺数が平年より多く、今後も発生が増加し被害の拡大が懸念されますので、注意報を発令します。

現地においては発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いします。

農 物 名：果樹全般（特に、カキ、モモ、ウメ、ナシ、カンキツ類）

病虫害名：果樹カメムシ類（主に、ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ）

1. 発生地域 県内全域
2. 発生時期 6月上旬～
3. 発生程度 多(前年より多く、平年より多い)

4. 注意報発令の根拠

(1) 予察灯における5月第3～5半旬の果樹カメムシ類の誘殺数

勝浦町では、ツヤアオカメムシが425頭と、平年(271.4頭)の約1.6倍誘殺され、チャバネアオカメムシが408頭と、平年(69.7頭)の約5.9倍、前年(35頭)の約12.1倍誘殺された(表1)。

上板町では、ツヤアオカメムシが140頭と、平年(110.2頭)の約1.3倍誘殺され、チャバネアオカメムシが32頭と、平年(41.0頭)と同程度誘殺された(表2)。

(2) フェロモントラップにおける5月第3～5半旬のチャバネアオカメムシ誘殺数

石井町における調査では163頭と、平年(78.6頭)の約2.1倍、前年(26頭)の約6.3倍誘殺された(表3)。

(3) チャバネアオカメムシの越冬密度

2月に実施したチャバネアオカメムシの越冬調査(11地点×2か所調査)では、9地点で越冬を確認、越冬成虫は7.0頭/m²であり、平年(1.6頭/m²)に比べて高く、前年(成虫確認地点数は8地点、越冬成虫数は0.9頭/m²)に比べて約4.4倍高い越冬密度

であった。

(4) 5月下旬, 現地圃場(徳島市, 勝浦町)のカンキツ, ビワ等で果樹カメムシ類の寄生を確認している。

(5) 高松地方気象台が5月23日に発表した1か月予報では, 気温は平年より高く, 降水量はほぼ平年並みで, 日照時間は平年並みか多いと予想されており, 発生助長的な気象条件である。

5. 防除法等

(1) 果樹園周辺の山林や雑木林から成虫が飛来してくるので, 園内を巡回し, 飛来を確認したら早急に防除を行う。

(2) 夜行性の虫なので, 薬剤の散布は夕方か早朝に実施すると効果が高い。

(3) 移動性が大きいので, 広域一斉防除により防除効果の向上に努める。

(4) 飛来数が多い場合は, 継続的な防除が必要であるが, 薬剤の影響で鱗翅目害虫やハダニ類が増加する場合がありますので注意する。

※有機リン系薬剤は天敵への影響は小さいが, 残効は1~2日程度と短い。ネオニコチノイド系薬剤は, 吸汁阻害効果が高く5~10日程度残効はあるものの, 連用した場合, 鱗翅目害虫が増加する傾向にある。合成ピレスロイド系薬剤は, 殺虫効果が高く残効も長い。

(5) 防除等の詳細については, 徳島県植物防疫指針を参照するとともに, 薬剤の使用に当たっては, 必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。

表1 勝浦町での予察灯による果樹カメムシ類誘殺数

月・半旬	ツヤアオカメムシ			チャバネアオカメムシ		
	2019年	2018年	平年	2019年	2018年	平年
4・1	0	2	0.3	0	0	0.1
4・2	0	0	0	0	0	0
4・3	0	3	0.3	0	0	0
4・4	0	0	0.8	0	0	0.8
4・5	30	15	2.5	4	4	0.7
4・6	2	20	7.9	0	11	7.2
5・1	50	117	47.3	7	30	30.4
5・2	19	75	60.3	9	14	14.7
5・3	130	74	72.4	91	7	14.9
5・4	144	424	152.0	124	22	30.5
5・5	151	40	47.0	193	6	24.3
5・6		105	77.0		38	23.9

表2 上板町での予察灯による果樹カメムシ類誘殺数

月・半旬	ツヤアオカメムシ			チャバネアオカメムシ		
	2019年	2018年	平年	2019年	2018年	平年
4・1	0	0	0	0	0	0
4・2	0	0	0	0	0	0.1
4・3	0	0	0.1	0	0	0
4・4	0	2	0.6	0	1	0.5
4・5	21	25	4.2	25	1	0.7
4・6	1	4	9.2	1	0	1.8
5・1	15	73	27.4	15	10	6.4
5・2	3	11	29.3	2	3	11.4
5・3	32	30	43.9	15	10	19.2
5・4	87	40	36.6	6	16	12.6
5・5	21	25	29.7	11	15	9.2
5・6		41	38.8		11	13.2

表3 石井町でのフェロモントラップによるチャバネアオカメムシ誘殺数

月・半旬	2019年	2018年	平年
4・1	0	3	0.4
4・2	0	2	0.5
4・3	0	3	0.8
4・4	1	6	2.7
4・5	24	2	1.5
4・6	3	2	3.6
5・1	63	8	16.5
5・2	8	2	25.3
5・3	57	6	30.0
5・4	64	1	23.1
5・5	42	5	25.5
5・6		1	27.9

(参考)



写真1 ツヤアオカメムシ



写真2 チャバネアオカメムシ



写真3 クサギカメムシ